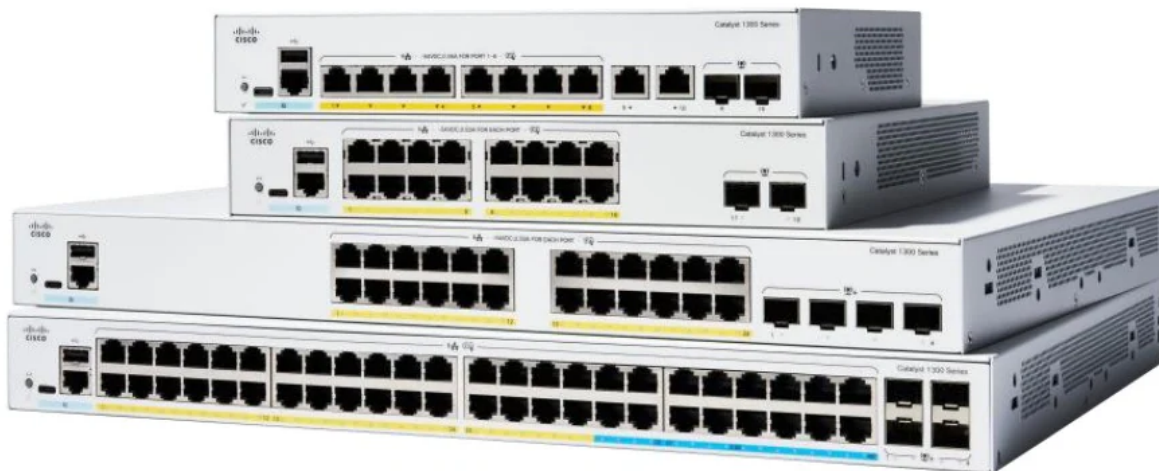


Cisco C1300-8 の設定



これは完全な設定手順ではありません。これらのスイッチをRavenna/AES67ネットワークで使用するための設定方法に関する簡単なガイドです。

このガイドは、Cisco Catalystシリーズ(C1300)全体に適用されます。

始める前に

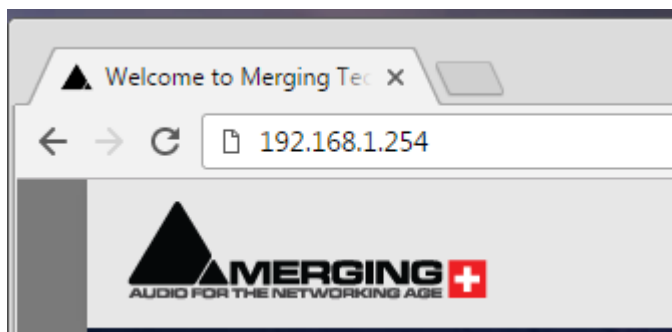
重要！ Merging MassCore PCIe Ethernetカード(NET-MSC-GBEX1)に接続した際にスイッチの設定にアクセスできない場合は、PCのオンボードEthernetポートに接続してください。設定が完了したら、スイッチをMassCore Ethernetカードに再接続してください。

複数のCiscoスイッチを接続するには、追加の設定が必要です。[複数のネットワークスイッチに関する考慮事項のページ](#)と、[Ciscoの複数スイッチ設定ガイド](#) もご覧ください。

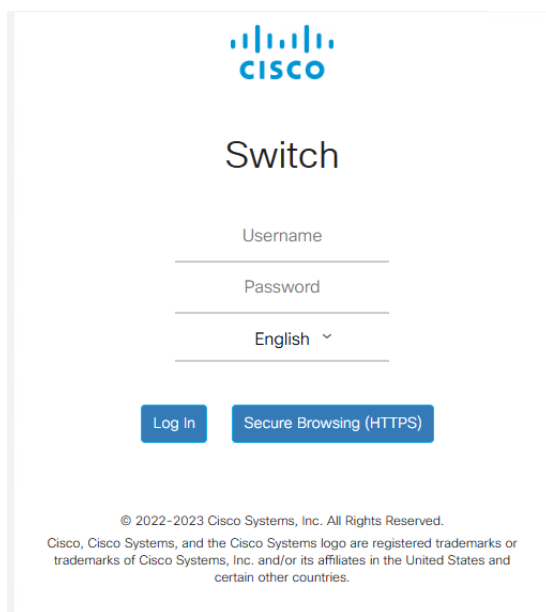
Dante-AES67デバイスには、設定ファイルに含まれていない追加の設定が必要です。詳細については、[Danteデバイスのマルチキャストグループ設定ページ](#) をご覧ください。

Cisco C1300 スwitchの自動設定手順

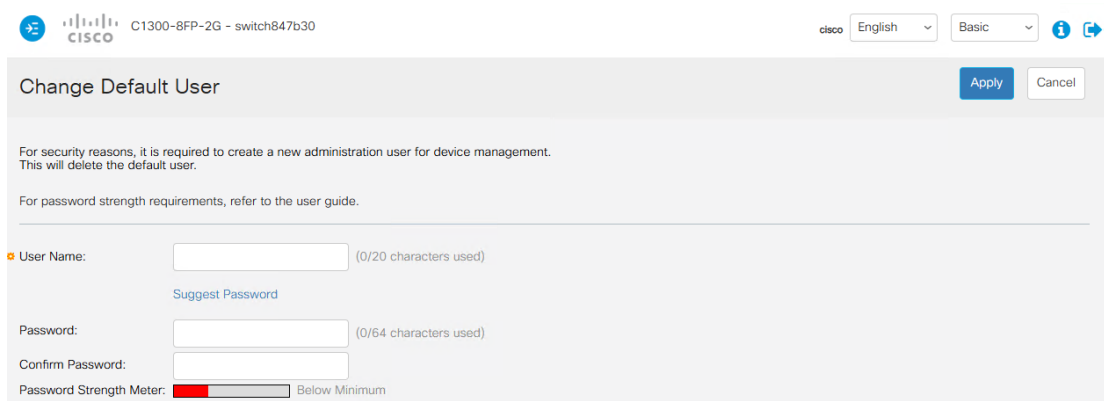
1. スwitchとコンピューターにネットワークケーブルを接続します。
Switchは初期化するため、アクセスできるようになるまで数分かかります。
2. 192.168.1.x アドレス プール内の IP を使用するようにコンピューターを設定します。
3. ナビゲータページを開き、**http://192.168.1.254** (CiscoスイッチのデフォルトIPアドレス)に移動します。



ログインするにはユーザー名とパスワードを入力するよう求められます。
デフォルトのユーザー名: **cisco** デフォルトのパスワード: **cisco**

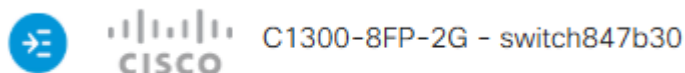


- ログインプロンプトの後、ご自身のパスワードを設定するよう求められます。
必要な最小文字数とパスワードの複雑さにご注意ください。

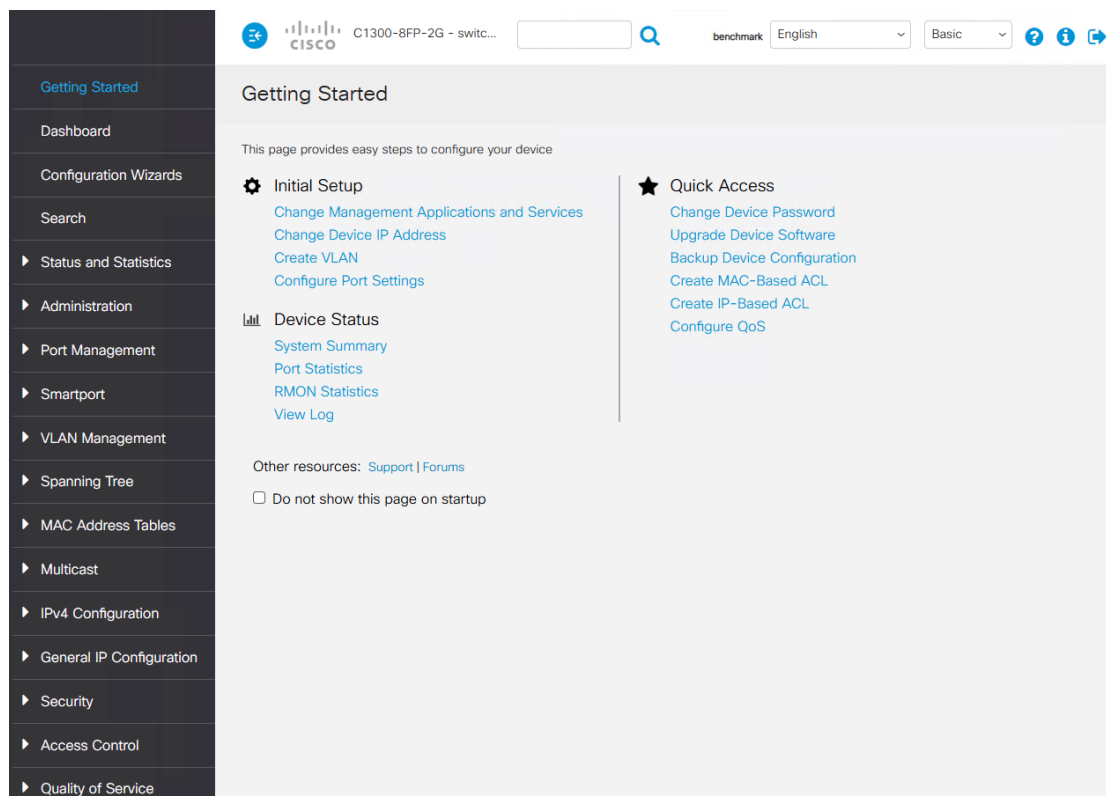


後でパスワードを変更する場合は、**Administration > User Account** ページで行います。
スイッチを "factory defaults" にリセットする場合も、この手順を再度実行する必要があります。

5. 使いやすくするために、左上隅の青いアイコンをクリックしてサイドバーをアクティブにしてください。



6. 管理ページが読み込まれ、スイッチの設定を開始できます。



7. Cisco C1300 スイッチ モデルの最新の構成ファイルをダウンロードします。

[Cisco CBS350-8T/PE-2G Cisco CBS350-8T/PE-2G - Dual VLAN](#)

ポート1～5: RAVENNA/AES67

ポート6～10: 通常ネットワーク

注: デュアルVLAN設定ファイルを適用すると、スイッチの管理ページはポート6～10からのみアクセス可能になります。

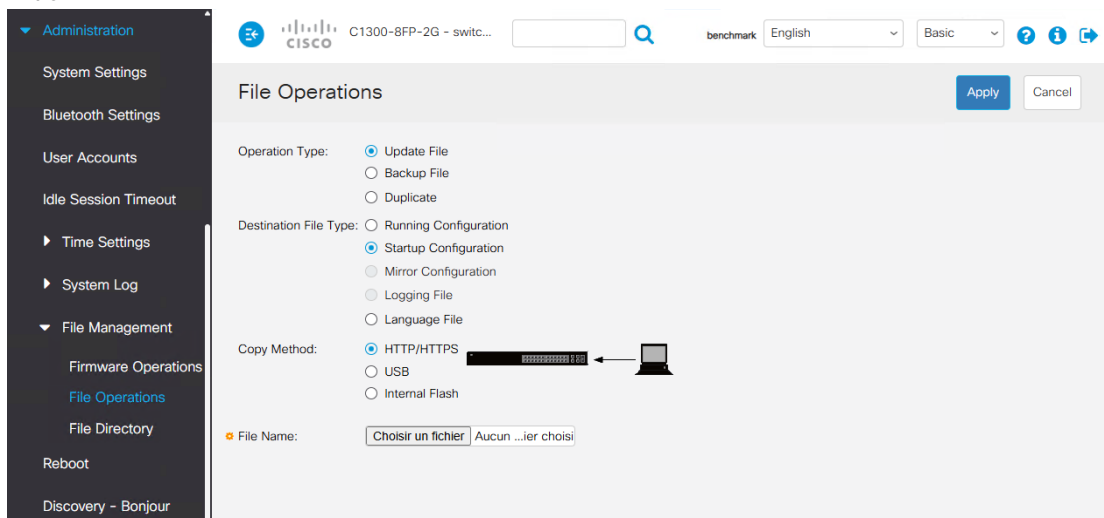
[Cisco CBS350-8T/PE-2G - ACL Port 8](#)

ポート8はすべてのマルチキャスト ストリームをフィルタリングするように設定されており、非 RAVENNA/AES67 ネットワークへの接続を許可します。例: リモート コントロール目的 (タブレット、スマートフォン) で AP WIFI を直接接続し、インターネット ルーターに接続します。

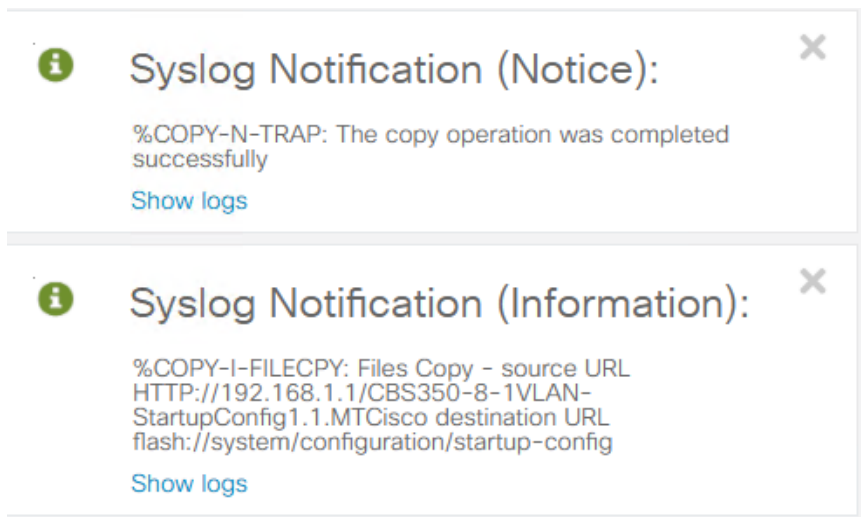
Merging RAVENNA 構成ファイルは、RAVENNA / AES67 ネットワークを最適化するためにさまざまな設定 / プロトコルを自動設定し、スイッチの最終的な固定 IP アドレス(169.254.1.254)も設定します。

8. **Administration > File Management** に移動し、**File Operations** を選択します。
9. **Operation Type : Update File**
Destination File Type : Startup Configuration

Copy Method : HTTP/HTTPS

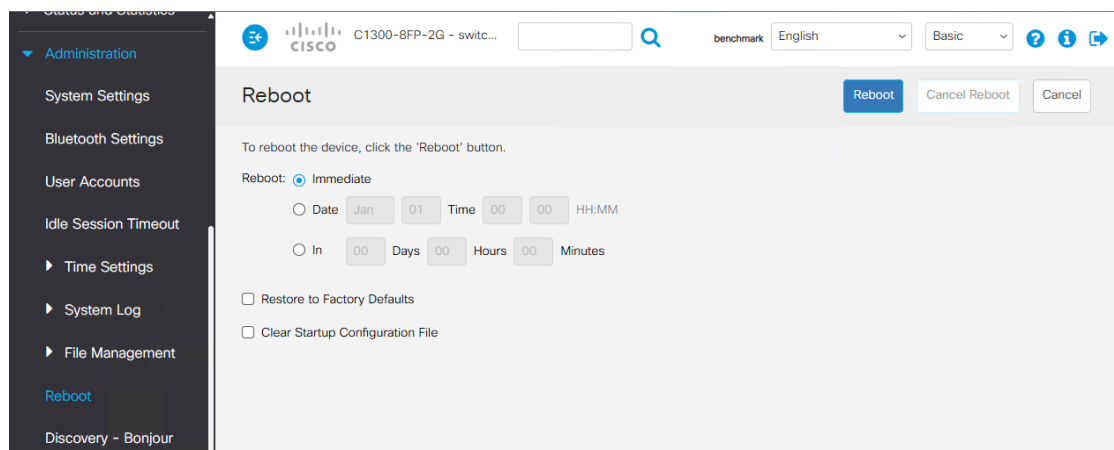


10. 次に **Choose File** をクリックし、ファイル選択ウィンドウでインポートしたい設定ファイルを参照します。設定ファイルを選択し、**Open** をクリックします。
11. メインウィンドウに戻り、**Apply** をクリックして 設定ファイルをスタートアップ設定に読み込みます。インポートが完了すると、スイッチから操作が完了したことを通知するメッセージが送信されます。



12. 変更を適用するには、スイッチを再起動する必要があります。
Administration > Reboot をクリックし、
Immediate を選択して
Reboot ボタンをクリックします。

デバイスの再起動には時間がかかる場合があります。



13. スイッチのIPアドレスが **169.254.1.254** に変更されるため、現在使用している 192.168.1.254 のページは応答なくなります。

スイッチにアクセスできるようにするには、コンピューターを **169.254.xx** アドレスプールの IP アドレスを使用するように設定してください。

[「IPアドレスを手動で設定する方法」](#)を参照してください。ただし、今回はネットワークアダプターがアドレスを自動取得するように(DHCP)設定してください。

14. これでスイッチが設定され、使用できる状態になりました。Merging RAVENNA ネットワークカードは **169.254.xx** 範囲の IP で自動的に設定されるはずですが。
15. ポイント 3 と同じデフォルトの資格情報を使用してログインし、新しいユーザー ログインとパスワードを選択する必要があります。

変更を加えた場合は必ず **Apply** をクリックし、その後、**Administration > File Management > File Operations** に移動して変更を適切に保存する必要があります (Running Configuration から Startup Configuration に複製します)。

SSM - IGMP V3

設定ファイルはIGMP v2を使用するように設定されています。

SSM(Source-Specific Multicast - [Merging devices Advanced pages](#) を参照)を使用する場合は、IGMP v3を手動で有効化する必要があります。[CBS350の手動設定](#) をご覧ください。